

# AI時代の教育と評価

意志ある学びをかなえるプロジェクト学習・ポートフォリオ・対話コーチング

## 内容

### 1章 与えられた学びから意志ある学びへ

- 1 新しい時代 — アクティブラーニングで「創造的な思考」
- 2 AI時代に求められる「正解なき教育」
- 3 教育イノベーション 与えられた学びから意志ある学びへ
- 4 次世代教育 — 4つの修得知モデル

### 2章 AI時代の教育——プロジェクト学習・ポートフォリオ・対話コーチング

- 1 プロジェクト手法で新しいカリキュラムマネジメント
- 2 次世代教育の『設計思想』
- 3 プロジェクト学習とポートフォリオの相互機能
- 4 AI時代の教育力 — 現実をステージとする教育
- 5 4つの実践モデル — 社会的課題（ソーシャルソリューション）

### 3章 AI時代のリテラシー 対話・俯瞰・シェア

- 1 「正解なき教育」の時代へ
- 2 AI時代に求められる新リテラシー
  - 知識と現実を結びつけるセンシング力
  - 考える力のためのクリティカルシンキング
  - アクティブシンキング — 深く考えるための対話

### 4章 課題発見から課題解決までの思考プロセス

- 1 プロジェクト学習で「課題解決力」を身につける
- 2 課題解決の思考プロセスとコーチング — 「課題解決シート」

### 5章 アクティブラーニング——成長への評価

AI時代の評価 — イノベーション 10

- 評価の目的が変わる
  - 評価の対象が変わる
  - 評価の方法が変わる
- 未来社会に役立つ評価へ

未来教育オンライン講座



### 6章 プロジェクト学習の実践セオリー

課題発見・課題解決のセオリー  
目標設定・プロセス評価のセオリー  
学びのシーンに応じたアクティブ・コーチング

### 7章 キャリアパスポートで未来をひらく

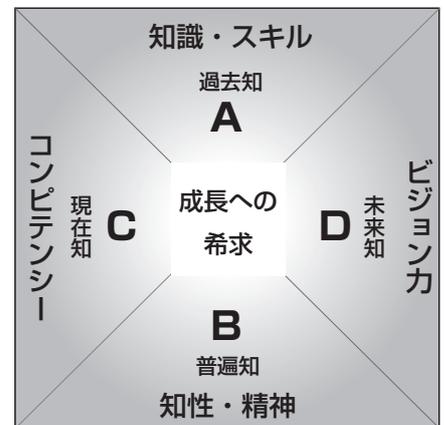
B5判・228頁

定価：本体 2,800円＋税

鈴木敏恵 著



図：次世代教育—4つの修得知



**A**：過去から脈々と受け継いできた膨大な知識。IT、人工知能、ロボットが得意。

**C**：力量（物事をやりとげる能力）、能力（成果に直結する能力）。正解や公式がなくリアルな現実と対座する必要があるため AI は不得意。

**D**：未来をよくしたいという願い（ビジョン）をかなえるために、現状から課題を発見して解決していく、人間だけが持つ夢を実現する力。

**B**：人間としての心、精神、魂。創造や行動の拠点、ACD、すべてのベース。

教育出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-10 電話 03-3238-6964 ファックス 03-3238-6999  
ホームページ <http://www.kyoiku-shuppan.co.jp>

## 注文書

(※書店にご注文ください)

### AI時代の教育と評価

意志ある学びをかなえるプロジェクト学習・ポートフォリオ・対話コーチング

定価：本体 2,800円＋税 ISBN978-4-316-80435-4

●お名前 \_\_\_\_\_ 冊

●ご住所 〒 \_\_\_\_\_

●電話 \_\_\_\_\_

お取り扱い店

# AI時代の教育と評価

## 意志ある学びをかなえるプロジェクト学習・ポートフォリオ評価・対話コーチング

発行：教育出版

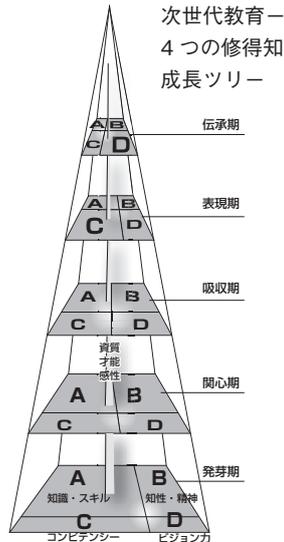


これからの未来社会はこれまでの延長にはありません。教育の目的は、『新しいよりよい未来を創るため』と進みます。ここに意志ある学び、創造的な教育が求められます。この本は、AI時代の教育を考へたい人、課題解決力など正解なき教育を求める教育者、プロジェクト学習に必要な力をどう身につけ、評価したらいいのか実践的に知りたい人に役立ちます。本書の各章は以下の内容で構成しています。

### 1章 AI時代へ新しい教育—4つの修得知

AIの進化で、人類にとっていちばん意味深いのは、AI自身が世界を見て必要と判断するものを自ら生成するようになること。何をもち「判断」するか、ここがシンギュラリティの分水嶺。もし利潤や効率性を判断基準とすれば、その未来に人類の居場所はなくなるが予想できます。

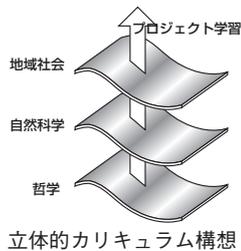
1章では、AIが持ち得ず人間にしかないものは何か、そのためにはどんな教育が求められるのか…それを明らかにするため、「次世代教育—4つの修得知モデル」を提案しています。



### 2章 次世代教育の「設計思想」と「教育手法」

新しい未来を創れる教育を考える前に、AI時代…その時私たちがどんな未来にしたいのか、人間として何を大切にしたいのか、その哲学やビジョンを一人ひとりが描くことが求められます。

2章では、「現実対座」「未来志向」「知識創造」の次世代教育ビジョンを理念にカリキュラムデザイン的设计思想からその実現のためのプロジェクト学習、ポートフォリオ、対話コーチングの教育手法と社会的課題へ立ち向かう4つの次世代プロジェクト学習実践モデルを伝えます。



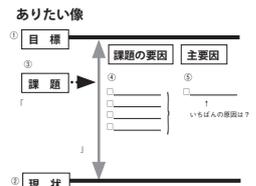
### 3章 AI時代を生きるリテラシー 対話・俯瞰・共有

<自己学習>で成長するディープラーニング、AIネットワークによる<情報共有>、その圧倒的な進化、瞬時の知の共有…私たち人間は一方的に教えることに慣れ、ないがしろにしていないでしょうか。3章では自ら学んで成長できるために、考えるとは何か、クリティカルシンキング、「対話」「俯瞰」「共有」をどう教育に取り入れるのか、わかりやすく表現しました。



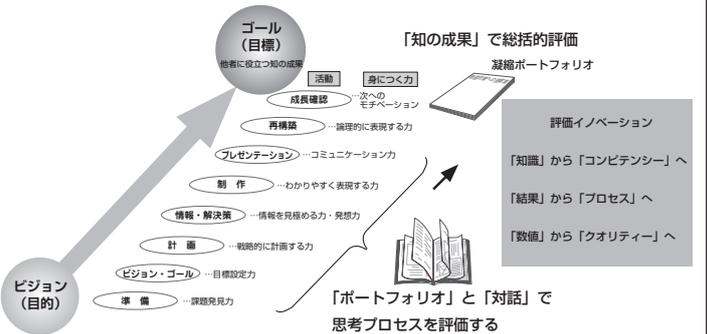
### 4章 「現実」からの課題発見、「現実」への課題解決

4章では自ら課題を発見できる力、エビデンスをもとにする課題解決力を身につけることができます。課題発見から課題解決の思考手順とコーチングを視覚的にわかりやすく表現したシートを活用します。



### 5章 評価とは価値を見出すこと

「結果」を判定する評価であればコンピュータで可能です。人間はプロセスに関わり価値を見出し学習者を伸ばす評価ができます。5章では新しい評価の考え方とともに、どうプロセスで評価すれば成長するのか、どんな風にポートフォリオを活かせばいいか、事例をもとに伝えます。



### 6章 「よりよい未来を創る力」を身につける

AIはすでに創造的な解さえ生み出します。しかし躍動する現実社会からの課題発見、現地へ行き人々に会い信頼を得て価値ある情報や知恵を得る、チームで解決策を生み出し、よりよい未来を創るためそれを現実の中で実行することは人間にしかできません。6章ではフェーズで区切りながら、これらの普遍的な力を身につけます。

- 知的活動 フェーズで「身につく力」とそのための活動
- コンセプト 行動や判断のよりどころになる考え方
- セオリー コンセプトを成り立たせる理論、原理、体系、踏むべき思考手順など
- 実践ポイント 成長への「対話コーチング」指導の工夫
- 成長評価 学習プロセスで成長するために、身についた力を確認、評価する

### 7章 自分で自分を成長させる人をかなえるポートフォリオ

進化したAIは自らを成長させ自身を変えていくことさえします。私たち人間はどうでしょうか。7章では自ら学び知識や方法を身につけ自分の深いところをしなやかに変化させるためのキャリアポートフォリオを伝えます。

